# いくつもの冬を迎えて

いくつもの春が過ぎ去って
いくつもの夏が終わって
いくつもの秋を感じて
いくつもの冬を迎えて

人は皆　少しずつ忘れてく　記憶の中で
大事な何か　掴んでは生きてゆくのだろう

あの日の空の色も　聞こえてた笑い声も
今では頭の隅　淡く揺れてる

若かった日々の夢はいつしか形を
変えてしまったけれど　消えずに残っている

いくつもの春が過ぎ去って
いくつもの夏が終わって
いくつもの秋を感じて
いくつもの冬を迎えて

雪が降るある朝には　懐かしい人の面影
風が吹く冷たさに　過ぎた季節感じる

あの日に戻るのでなく　あの日があったことを
静かに抱きしめて生きて行きたい

枯れ枝の先に小さな芽吹きが宿る
人の心もまた新しく変われる

私は今日も白く染まる道を
まだ見ぬ春があると信じて歩いてゆく

いくつもの春が過ぎ去って
いくつもの夏が終わって
いくつもの秋を感じて
いくつもの冬を迎えて

ラララ